

TOTO

住宅用上がりかまち手すり

EWT40型(ショートタイプ)
EWT41型(ロングタイプ)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

	⊘は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	⊕は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告	
	屋外や浴室などの、水が掛かったり湿気が多い場所には取り付けない また、下地および商品を水にぬらさない 部材が腐食することで手すりが外れたり、かまちが壊れたりして使用される方が転倒し、けがをすることがあります。
	修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 手すりの破損や脱落により、使用される方が転倒し、けがをすることがあります。

警告

必ず強度のある、木製のかまちであることを確認し、指定の取付方法で取り付ける
手すりが外れたり、かまちが壊れたりして使用される方が転倒し、けがをすることがあります。



必ず同梱のねじ、または当社指定の固定金具を使用する
同梱のねじ、または当社指定の固定金具を使用しないと、手すりが外れたり、かまちが壊れたりして使用される方が転倒し、けがをすることがあります。



かまち固定ねじは必ず適切な下穴をあけてからねじ込む
取り付けが不安定となり、使用される方が転倒し、けがをすることがあります。



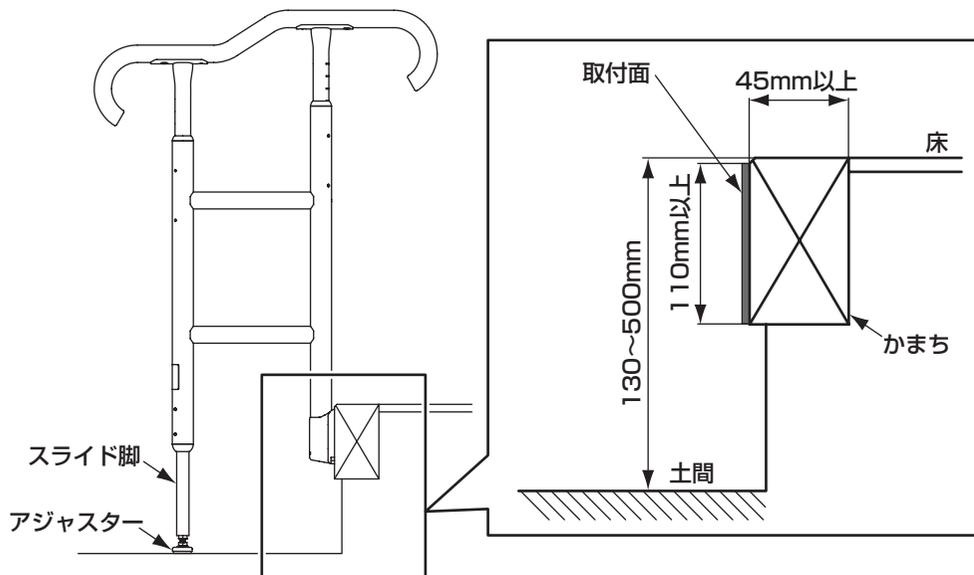
取り付け完了後、手すりにガタツキがないことを確認する
手すりにガタツキがあると、手すりが外れたり、かまちが壊れたりして使用される方が転倒し、けがをすることがあります。



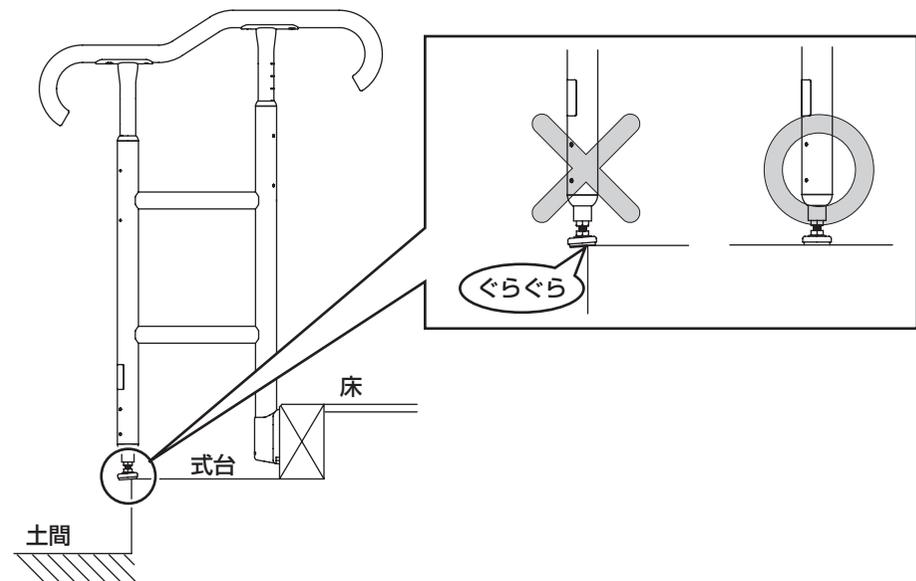
 **必ず実行**

2 取り付け前に

取り付け前の注意



- 玄関の段差が **130~500mm** であることを確認してください。
500mmより大きい場合は、スライド脚の長さが不足し不安定になります。
130mm未満には、スライド脚を縮めることができません。
- かまちの高さが **110mm以上** (平面部)、厚みが **45mm以上** あることを確認してください。
カバーがはみ出したり、手すりを外れたりするおそれがあります。



- アジャスターの底面は必ず平面部に固定してください。
アジャスターがしっかり固定されないと、手すりがかたつきやすくなります。
- アジャスターはタイルやモルタルなどの硬くて変形しにくい材質に固定してください。
木材や樹脂などの変形しやすい材質の場合は、手すりがかたつきやすくなります。
- アジャスターは固定する取付面の異物を取り除いてから取り付けてください。
手すりがかたつきやすくなります。

3 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

手すり本体部	
施工用	その他
<p>施工方法にあわせてご利用ください</p> <p>施工方法A</p>	<p>施工方法B</p>
<p>フック (2個) 小ねじ (2本)</p>	<p>取付用型紙</p> <p>施工説明書 (本書)</p> <p>取扱説明書</p>

4 必要工具(現場手配)

六角棒レンチ	スパナ	モンキーレンチ
<p>六角棒レンチ (対辺2.5)</p>	<p>スパナ (呼び17) 2本</p>	<p>モンキーレンチ ※スパナの代わりにモンキーレンチでもできます。</p>

5 完成図

(単位: mm)

EWT40 (ショートタイプ)

※注1: 寸法はAが10mmの場合 (Aは、P.4の 7 を参照)

(カバー寸法)

※ねじ穴位置は同梱の取付用型紙を参照ください。

EWT41 (ロングタイプ)

※注1: 寸法はAが10mmの場合 (Aは、P.4の 7 を参照)

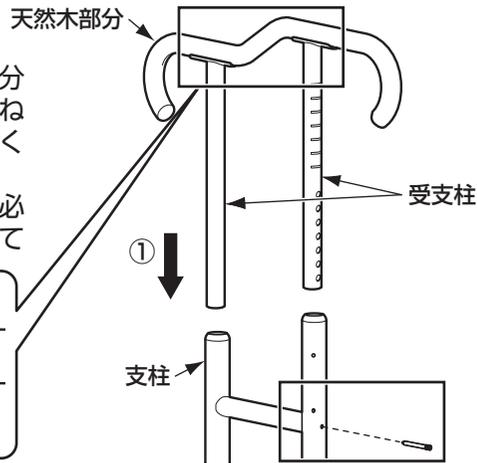
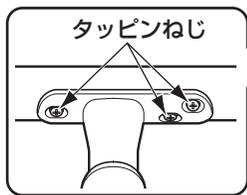
(カバー寸法)

※ねじ穴位置は同梱の取付用型紙を参照ください。

6 手すりの組み立て

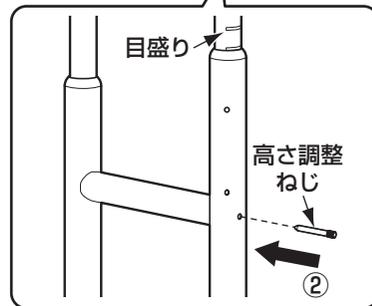
①受支柱を支柱に差し込む。

差し込みにくい場合は、天然木部分と受支柱を固定しているタッピンねじを少しゆるめてから差し込んでください。
タッピンねじをゆるめた場合は、必ず最後にしっかり締め付け固定してください。



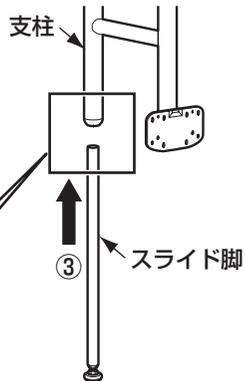
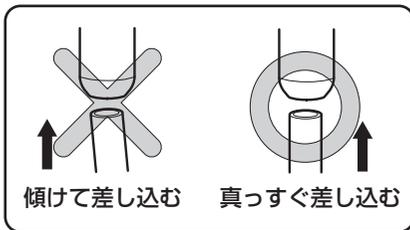
②目盛りにあわせて高さ調整ねじを仮固定する。

あとで手すりの高さは調整できるため、ここでは適当な高さにねじを仮固定してください。



③スライド脚を支柱に差し込む。

スライド脚を傾けて差し込むと、支柱内部で受支柱とぶつかりますので、まっすぐ差し込んでください。



7-1 支柱の固定 (フック利用の場合)

施工方法A：フックを利用する場合

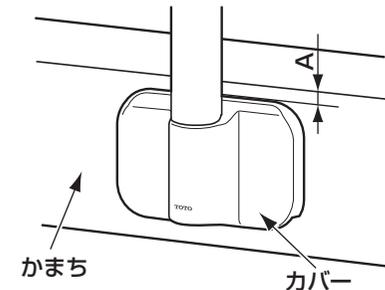
フックは手すりをかまちに仮置きするためのものです。フックにより施工やお客様への位置確認がやりやすくなります。施工後は取り外す必要があります。なお、仮置きが不要な場合はフックを取り付ける必要はありません。

1. フックの取り付け

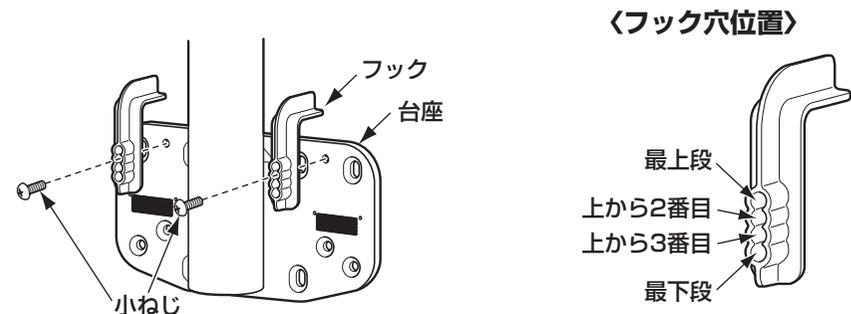
①カバーを取り付けたときのA寸法を決め、フックの穴位置を選ぶ。

A寸法は、かまち固定ねじが下地材と下地材の境目にくる場合などをさけ、必ず強度のある位置をお選びください。また、カバーがかまちはみ出さない位置としてください。

A寸法	フック穴位置
5mm	最上段
10mm (標準)	上から2番目
15mm	上から3番目
20mm	最下段



②フックの穴に小ねじを通して、台座に固定する。



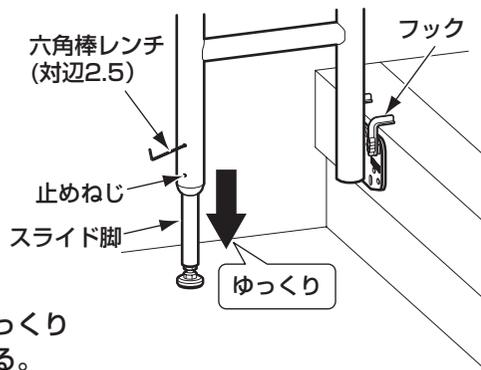
<フック穴位置>

最上段
上から2番目
上から3番目
最下段

施工方法A：フックを利用する場合 (つづき)

2. 位置決め

- ①フックをかまちにひっかける。



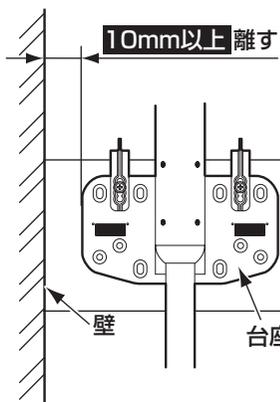
- ②土間につくまでスライド脚をゆっくり伸ばして、止めねじを仮固定する。

ポイント

スライド脚を仮固定すると、手すりが自立するため、施工しやすくなります。

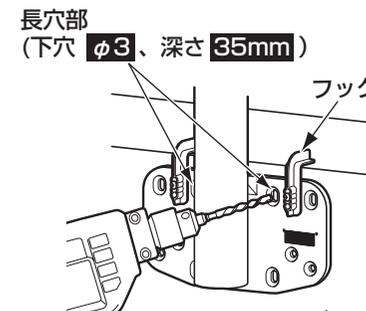
- ③手すりの取付位置を決める。

※台座はカバーが取り付けできるように壁から **10mm以上** 離してください。

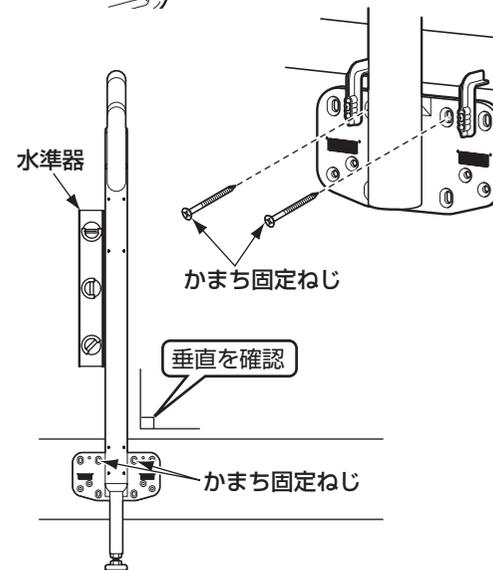


3. 支柱の固定

- ①フックをかまちにひっかけたまま、長穴部(左右1カ所ずつ)に $\phi 3$ 、深さ **35mm** の下穴をあける。



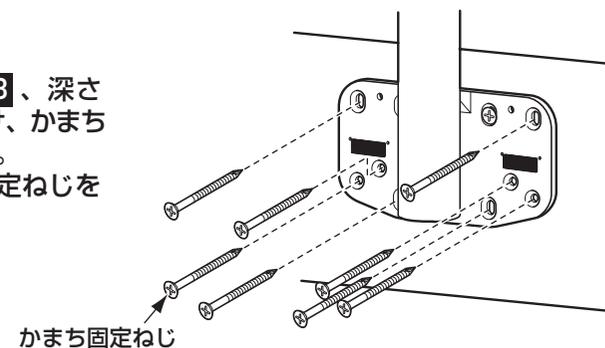
- ②下穴をあけた長穴部にかまち固定ねじを仮固定する。



- ③フックを外す。フックを外さないと支柱を垂直にする場合にやりにくい場合があります。

- ④支柱の垂直を水準器などで確認し、仮固定したかまち固定ねじをしっかりと固定する。

- ⑤残りのねじ穴に $\phi 3$ 、深さ **35mm** の下穴をあけ、かまち固定ねじを固定してください。

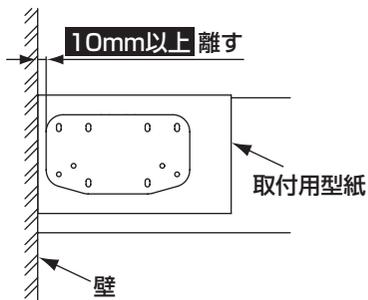


施工方法B：取付用型紙を利用する場合

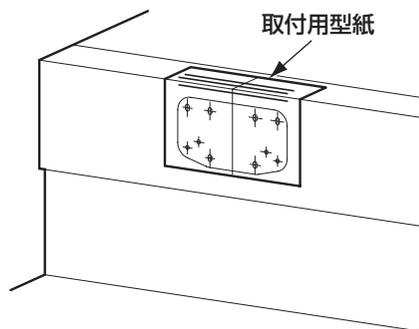
取付用型紙(同梱)は、フックを使用せずに施工する場合にご利用ください。

1. 位置決め

- ①手すりの取付位置を決める。
カバーが取り付けできるように取付用型紙を使い、台座は壁から**10mm以上**離してください。
取付用型紙が壁に当たる場合は横を折って使用してください。
※詳細は同梱の取付用型紙を参照ください。

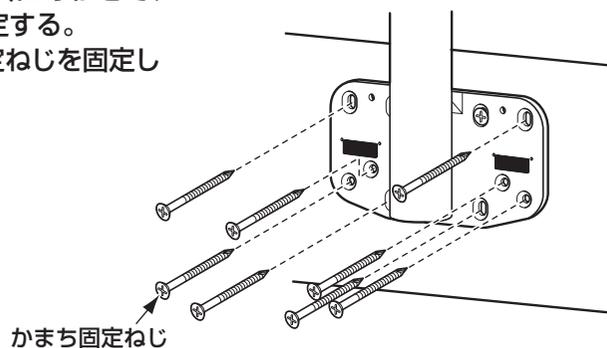


- ②取付用型紙で心出しを行い、**φ3**、深さ**35mm**の下穴をあける。

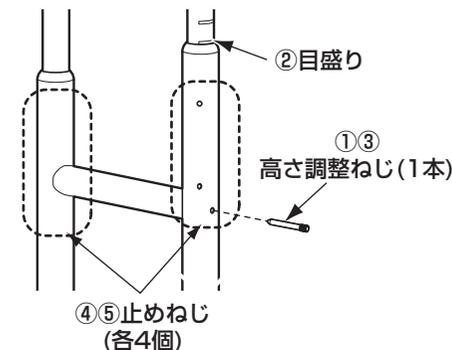


2. 支柱の固定

組み立てた手すりを穴にあわせて、かまち固定ねじを固定する。
必ず全てのかまち固定ねじを固定してください。



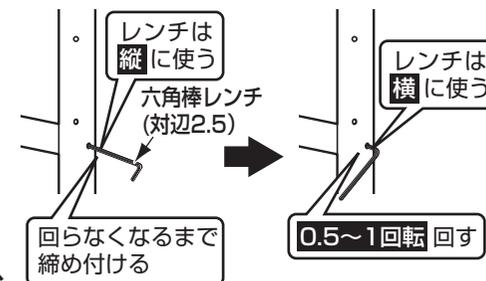
- ①仮固定した高さ調整ねじを外す。



- ②受支柱の目盛りにあわせて、手すりの高さを決める。
使用される方の使いやすさにあわせて高さを決めてください。

- ③高さ調整ねじを固定する。

まず六角棒レンチを**縦使い**にして回らなくなるまで締め付け、次に**横使い**にして**0.5~1回転**増し締めする。

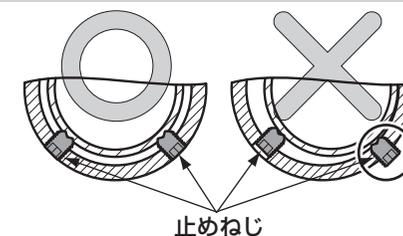


- ④止めねじ4カ所を均等に固定する。
まず六角棒レンチを**縦使い**にして、締込み量を均等に回らなくなるまで締め付ける。
次に**横使い**にして締込み量を均等に**0.5~1回転**増し締めする。

- ⑤反対側の支柱も同様に、止めねじ4カ所を均等に固定する。

注意

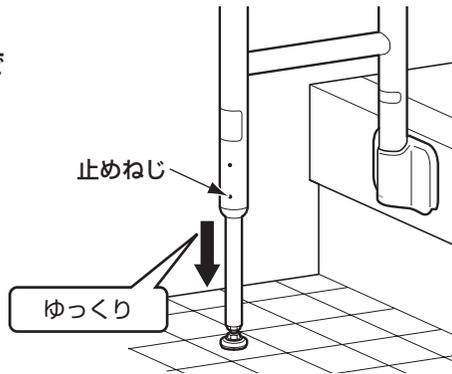
止めねじは締込み量を均等に締込み、支柱表面よりも凹になるようにねじ込んでください。
止めねじが支柱よりも凸になっていると、けがをするおそれがあります。



9

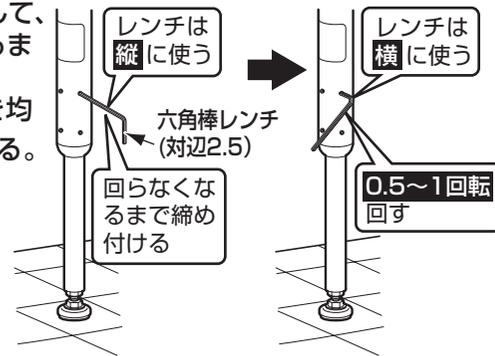
スライド脚の固定

- ①仮固定した止めねじをゆるめ、アジャスターが土間につくまでゆっくり伸ばす。



- ②止めねじ4カ所を均等に固定する。

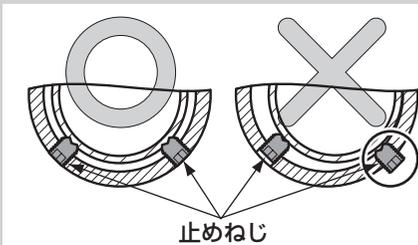
まず六角棒レンチを**縦使い**にして、締込み量を均等に回らなくなるまで締め付ける。
次に**横使い**にして締込み量を均等に**0.5~1回転**増し締める。



注意

止めねじは締込み量を均等に締め込み、表面よりも凹になるようにねじ込んでください。

止めねじが支柱よりも凸になっていると、けがをするおそれがあります。



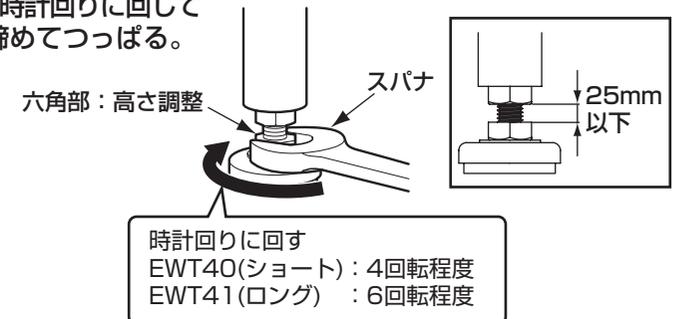
10

アジャスターの固定

- ①アジャスター底面と土間との間のすき間がなくなるように手で六角部を時計回りに回し、高さを調整する。



- ②六角部をスパナで時計回りに回してアジャスターを締めつつばる。



注意

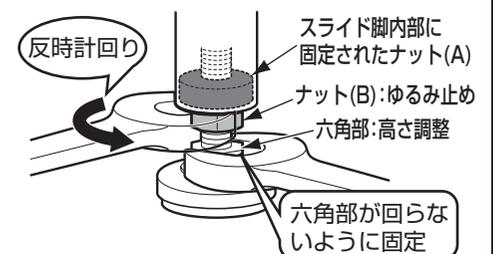
支柱を持ち上げてアジャスターが浮く場合は、さらに増し締めしてください。

ただし、ねじ部は25mm以内のこと。

つっぱりが弱いと手すりがかたつきやすくなります。

ただし、ねじ部を25mm以上延ばすとアジャスターの固定が不十分となり、かたつきやすくなります。

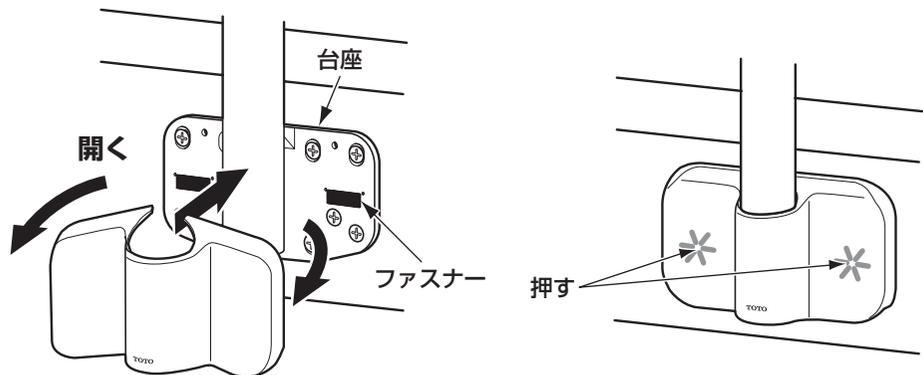
- ③六角部をスパナで固定し、ナット(B)を反時計回りに回してしっかり固定する。
スライド脚内部に固定されたナット(A)にナット(B)を締め付けることによりアジャスターのゆるみを防止します。



11 カバーの取り付け

①カバー中央の割れ部を開き、支柱にはめる。

②カバーと台座のファスナー部を押し付けて固定する。

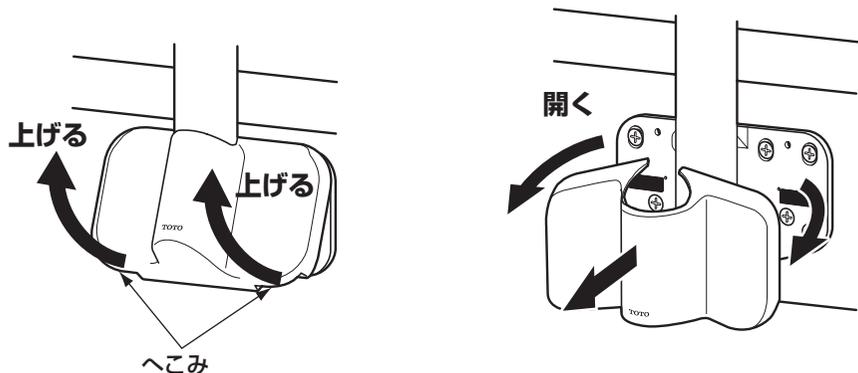


12 カバーの外しかた

カバーを外す場合は、下記要領にて行ってください。

①カバー下方のへこみに指をかけて上に引き上げる。

②カバー中央の割れ部を開き、カバーを取り外す。



13 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

ガタツキの確認

手すりにガタツキがないか確認してください。

①支柱はかまちにしっかり取り付けられていますか？

➡ 7 「支柱の固定」参照

②受支柱はしっかり固定していますか？

➡ 6 「手すりの組み立て」参照

③手すり高さ調整部はしっかり固定していますか？

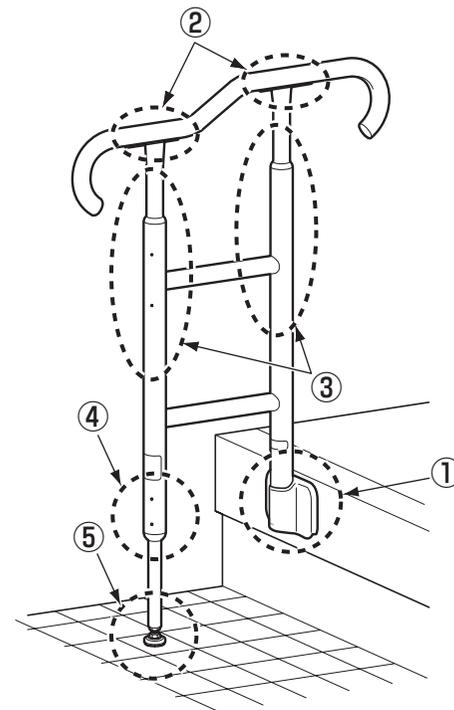
➡ 8 「手すりの固定」参照

④スライド脚はしっかり固定していますか？

➡ 9 「スライド脚の固定」参照

⑤アジャスターはしっかり固定していますか？

➡ 10 「アジャスターの固定」参照



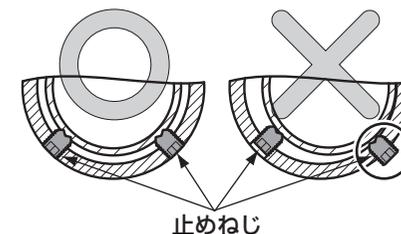
ねじ類の飛び出し確認

ねじの飛び出しがないか確認してください。

ねじが飛び出していませんか？

➡ 8 「手すりの固定」参照

➡ 9 「スライド脚の固定」参照



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。